

地域経済動向調査

平成29年度伴走型小規模事業者支援推進事業

目次

1. 調査概要

1-1 調査要領

1-2 報告書の見方

2. 調査結果

2-1 共通項目調査・全体傾向

2-1-1 売上高・出荷額

2-1-2 売上原価

2-1-3 在庫水準

2-1-4 経常利益

2-1-5 資金繰り状況

2-1-6 設備投資

2-1-7 雇用状況

- 1. 従業員の増減
- 2. 従業員の定着率

2-1-8 業況の実績と見通し

- 1. 業況
- 2. 販売数量
- 3. 販売単価
- 4. 仕入価格

2-2 全業種共通追加調査

2-2-1 経営上の課題

2-2-2 支援施策の活用等

3. 調査票

3-1 調査票表紙

3-2 共通項目調査票

3-3 全業種共通追加調査票

1. 調査概要

1-1 調査要領

- 調査目的

本調査は、福島県広野町、楡葉町、富岡町、川内村（調査対象地域）における経済動向、企業経営動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進する基礎資料として活用するとともに、地域内企業の経営判断の参考資料として役立てていただくことを目的とする。

- 調査方法

調査対象地域の128の事業所に対して商工会南双葉広域連携協議会が調査票をもとに聞き取り調査により実施した。

- 調査対象企業

調査対象地域において今後景況が懸念され支援の対象となり得る小規模事業者の次の各業種の企業から4町村で均等になるよう抽出し調査を行った。

1. 製造業
2. 建設業
3. 卸売業
4. 小売業
5. 飲食店・宿泊業
6. サービス業
7. 不動産業
8. その他

- 調査内容

- ① 共通調査項目：

次の項目につき、実績（平成29年1月～平成29年6月）および今後の見込（平成29年7月～平成29年12月）それぞれにつき状況を5段階評価で調査した。

1. 売上高・出荷額
2. 売上原価
3. 在庫水準
4. 経常利益
5. 資金繰り状況
6. 設備投資
7. 雇用状況
8. 業況の実績と見通し

- ② 全業種共通追加調査項目として、経営上の課題および支援施策の活用等に関し、選択肢より該当するものを順位付けによる回答（複数回答）の収集を行った。

- 調査実施期間

平成29年7月1日～8月31日にかけて調査を実施した。

1-2 報告書の見方

1. サンプル数

- 各業種において、次の数の企業より回答が得られた。但し、回答が得られなかった項目については、「無回答」として分析処理されている。

業種	サンプル数
製造業	20
建設業	25
卸売業	1
小売業	25
飲食宿泊業	20
サービス業	33
不動産業	1
その他	3
合計	128

- その他の企業は、共同販売事業、石材店、林業が各1社である。

2. 分析方法

- 調査項目毎に、全業種合計および各業種の集計結果をパーセンテージで算出している。
- 共通調査項目については、「実績」と「今後の見込」および実績から見込への変化を表示している。
- 景況等に対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、DIを算出している。DIとは、ディフューザー・インデックス(Diffusion Index)の略である。

項目	売上高、経常利益、資金繰り状況、雇用状況、業況、販売数量、販売単価				
評価	「増加」 「大変良い」 等	「やや増加」 「良い」 等	「変化なし」 「普通」 等	「やや減少」 「悪い」 等	「減少」 「大変悪い」 等
点数	+1	+0.5	0	-0.5	-1

項目	売上原価、在庫水準、設備投資、仕入価格				
評価	「増加」 「過剰」 等	「やや増加」 「やや過剰」 等	「変化なし」 「普通」 等	「やや減少」 「やや不足」 等	「減少」 「不足」 等
点数	-1	-0.5	0	+0.5	+1

- 平成29年6月時点の福島県景気動向調査
(http://www.utsukushima.net/information/shinkoujoho/2017/2017_6/keiki.pdf)と類似の項目について、一部比較を行っている。

3. 注意事項

- 卸売業および不動産業は、それぞれサンプル数が1であり、その他はそれぞれ異なる業種3件の集計であるため、業種全体の動向を反映していない恐れがある。
- 集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。

2. 調査結果

2-1 共通項目調査・全体傾向

業種	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	飲食宿 泊業	サービ ス業	不動産 業	その他
n	128	20	25	1	25	20	33	1	3
実績									
売上高・出荷額	▲ 4.3	25.0	4.0	50.0	▲ 36.0	▲ 2.5	▲ 7.6	50.0	▲ 16.7
売上原価	▲ 1.2	▲ 27.5	0.0	0.0	20.0	▲ 15.0	4.5	▲ 50.0	33.3
在庫水準	9.4	▲ 2.5	▲ 2.0	0.0	28.0	12.5	10.6	0.0	0.0
経常利益	▲ 12.9	7.5	0.0	50.0	▲ 34.0	▲ 12.5	▲ 22.7	50.0	▲ 16.7
資金繰り状況	5.1	12.5	14.0	0.0	2.0	7.5	▲ 4.5	0.0	0.0
設備投資	5.9	▲ 2.5	4.0	▲ 50.0	14.0	10.0	4.5	50.0	0.0
従業員の増減	0.4	12.5	2.0	50.0	▲ 8.0	7.5	▲ 6.1	▲ 50.0	0.0
従業員の定着率	19.9	17.5	12.0	0.0	14.0	32.5	27.3	▲ 50.0	16.7
業況	▲ 11.3	15.0	▲ 12.0	50.0	▲ 32.0	▲ 7.5	▲ 15.2	50.0	▲ 33.3
販売数量	▲ 10.5	15.0	▲ 6.0	0.0	▲ 30.0	▲ 7.5	▲ 16.7	50.0	▲ 33.3
販売単価	▲ 1.6	2.5	▲ 2.0	50.0	▲ 10.0	2.5	0.0	0.0	▲ 16.7
仕入価格	▲ 8.2	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 50.0	▲ 0.0	▲ 15.0	▲ 3.0	0.0	16.7
変化（見込・実績）									
売上高・出荷額	▲ 6.6	▲ 15.0	▲ 12.0	▲ 100.0	0.0	5.0	▲ 4.5	0.0	▲ 33.3
売上原価	4.7	10.0	14.0	50.0	▲ 6.0	▲ 7.5	6.1	0.0	33.3
在庫水準	▲ 0.4	5.0	10.0	0.0	▲ 8.0	▲ 7.5	▲ 1.5	0.0	0.0
経常利益	▲ 5.5	▲ 7.5	▲ 14.0	▲ 100.0	▲ 4.0	0.0	3.0	0.0	▲ 33.3
資金繰り状況	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 2.0	0.0	▲ 6.0	▲ 5.0	1.5	0.0	▲ 33.3
設備投資	2.7	0.0	2.0	50.0	2.0	7.5	0.0	0.0	16.7
従業員の増減	▲ 1.6	▲ 7.5	2.0	▲ 50.0	6.0	▲ 2.5	▲ 3.0	0.0	▲ 16.7
従業員の定着率	▲ 0.4	▲ 2.5	2.0	0.0	2.0	2.5	▲ 4.5	0.0	0.0
業況	▲ 0.8	▲ 7.5	0.0	▲ 50.0	8.0	2.5	▲ 1.5	0.0	▲ 33.3
販売数量	1.2	▲ 7.5	4.0	0.0	4.0	5.0	3.0	0.0	▲ 33.3
販売単価	1.2	5.0	▲ 4.0	0.0	12.0	0.0	▲ 1.5	▲ 50.0	▲ 16.7
仕入価格	0.8	2.5	6.0	0.0	▲ 8.0	▲ 2.5	3.0	50.0	0.0
見込									
売上高・出荷額	▲ 10.9	10.0	▲ 8.0	▲ 50.0	▲ 36.0	2.5	▲ 12.1	50.0	▲ 50.0
売上原価	3.5	▲ 17.5	14.0	50.0	14.0	▲ 22.5	10.6	▲ 50.0	66.7
在庫水準	9.0	2.5	8.0	0.0	20.0	5.0	9.1	0.0	0.0
経常利益	▲ 18.4	▲ 0.0	▲ 14.0	▲ 50.0	▲ 38.0	▲ 12.5	▲ 19.7	50.0	▲ 50.0
資金繰り状況	1.6	7.5	12.0	0.0	▲ 4.0	2.5	▲ 3.0	0.0	▲ 33.3
設備投資	8.6	▲ 2.5	6.0	0.0	16.0	17.5	4.5	50.0	16.7
従業員の増減	▲ 1.2	5.0	4.0	0.0	▲ 2.0	5.0	▲ 9.1	▲ 50.0	▲ 16.7
従業員の定着率	19.5	15.0	14.0	0.0	16.0	35.0	22.7	▲ 50.0	16.7
業況	▲ 12.1	7.5	▲ 12.0	0.0	▲ 24.0	▲ 5.0	▲ 16.7	50.0	▲ 66.7
販売数量	▲ 9.4	7.5	▲ 2.0	0.0	▲ 26.0	▲ 2.5	▲ 13.6	50.0	▲ 66.7
販売単価	▲ 0.4	7.5	▲ 6.0	50.0	2.0	2.5	▲ 1.5	▲ 50.0	▲ 33.3
仕入価格	▲ 7.4	▲ 17.5	▲ 4.0	▲ 50.0	▲ 8.0	▲ 17.5	0.0	50.0	16.7

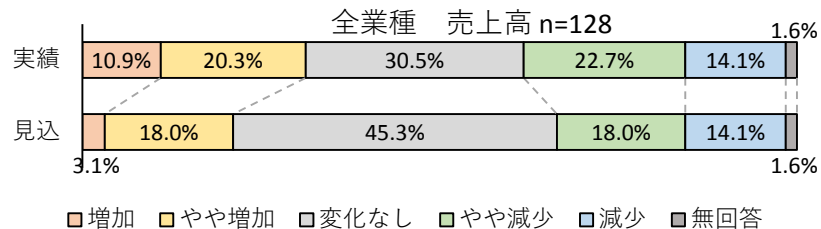
◆ 全業種傾向

- 実績においては、業況DIは▲11.3と下降傾向にあり、売上、経常利益、販売数量、販売単価等も下降傾向にある。福島県景気動向調査においても全産業の業況DIはマイナスを示しており動向は一致している。一方在庫水準や設備投資は改善傾向にあり、資金繰りの良化に貢献しているものとみられる。従業員の増減はあまりないが、定着率はよい。
- 見込みにおいては、業況は▲12.1で若干低下しており、売上、経常利益も下降傾向にある。福島県景気動向調査では、3ヵ月先の見通しとしてDI値はマイナスながらも改善している状況と、やや乖離がある。

◆ 業種別傾向

- 実績において、製造業の業況DIがプラス15.0であるが、他の業種は小売業▲32.0、サービス業▲15.2、建設業▲12.0、飲食店・宿泊業▲7.5と業況はよくない。（卸売業、不動産業はプラスだがサンプル数が1であるがそれぞれプラス50.0）。
- 見込みにおいて、小売業、飲食店・宿泊業の業況DIが若干改善しているものの、他の業種は若干悪化している。
- 製造業は、実績において業況、売上、経常利益、資金繰りのDIがプラスであるが、見込ではプラスを維持しているものの実績よりは概ね悪化している。福島県景気動向調査では実績、見通し共に改善傾向にあるとしているが、当調査対象地域では状況が異なっている。
- 建設業は、業況は実績、見込共に▲12.0である。福島県景気動向調査においては実績DIのマイナスが見込ではマイナスながら改善傾向にあり、乖離がみられる。
- 卸売業は、実績において業況、売上、経常利益等がプラスであったものが、見込みにおいてマイナスに悪化している。
- 小売業は、実績において業況が実績▲32.0、見込み▲24.0で改善傾向にあるものの状況はよくないものとみられる。福島県景気動向調査でも同様の傾向がみられる。
- 飲食店・宿泊業は、実績および見込みにおいて、業況は若干マイナスながら、比較的安定している。従業員の定着率も高い。
- サービス業は、業況は実績▲15.2、見込み▲16.7でマイナスが続いている。福島県景気動向調査では実績、見通し共にマイナスながら見通しでは改善傾向がみられている。
- 不動産業は、実績において業況はプラスであり、見込みも同様の状況である。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、業況は実績▲33.3が、見込みで▲66.7に悪化している。

2-1-1 売上高・出荷額



売上高・出荷額	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	10.9%	20.3%	30.5%	22.7%	14.1%	1.6%	▲ 4.3
製造業	20	20.0%	35.0%	25.0%	15.0%	5.0%	0.0%	25.0
建設業	25	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	16.0%	4.0%	4.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	12.0%	20.0%	44.0%	20.0%	4.0%	▲ 36.0
飲食宿泊業	20	5.0%	25.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	▲ 2.5
サービス業	33	12.1%	12.1%	42.4%	15.2%	18.2%	0.0%	▲ 7.6
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7
変化（見込-実績）								
全業種	128	-7.8%	-2.3%	14.8%	-4.7%	0.0%	0.0%	▲ 6.6
製造業	20	-15.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 15.0
建設業	25	-12.0%	-8.0%	24.0%	0.0%	-4.0%	0.0%	▲ 12.0
卸売業	1	0.0%	-100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 100.0
小売業	25	0.0%	0.0%	12.0%	-24.0%	12.0%	0.0%	0.0
飲食宿泊業	20	-5.0%	0.0%	20.0%	-10.0%	-5.0%	0.0%	5.0
サービス業	33	-9.1%	0.0%	12.1%	3.0%	-6.1%	0.0%	▲ 4.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	▲ 33.3
見込								
全業種	128	3.1%	18.0%	45.3%	18.0%	14.1%	1.6%	▲ 10.9
製造業	20	5.0%	35.0%	40.0%	15.0%	5.0%	0.0%	10.0
建設業	25	8.0%	12.0%	44.0%	20.0%	12.0%	4.0%	▲ 8.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	0.0%	12.0%	32.0%	20.0%	32.0%	4.0%	▲ 36.0
飲食宿泊業	20	0.0%	25.0%	60.0%	10.0%	5.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	3.0%	12.1%	54.5%	18.2%	12.1%	0.0%	▲ 12.1
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	▲ 50.0

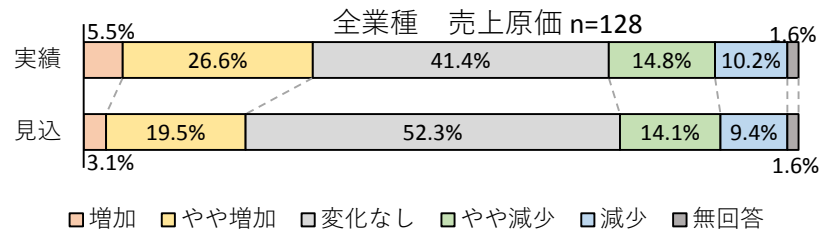
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲4.3であった。「変化なし」が30.5%で一番多いものの、「増加」「やや増加」合計31.2%、「やや減少」「減少」合計36.8%であり、平成29年前半において事業環境がかなり変化していることが窺える。
- 見込みにおけるDIは6.6悪化し、▲10.9となっている。「変化なし」の割合が見込みににおいて30.5%から45.3%へ14.8%上昇しており、「増加」「やや増加」「やや減少」の割合は下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種は、製造業（25.0）、建設業（4.0）および卸売業（50.0）、不動産業（50.0）であり、マイナスの業種は小売業（▲36.0）、サービス業（▲7.6）および飲食店・宿泊業（▲2.5）である。
- 見込みににおいて、製造業は10.0だが、実績より15.0ポイント減少している。飲食店・宿泊業は5.0上昇し2.5となった。小売業は実績と変わらず▲36.0、サービス業は4.5悪化し▲12.1、建設業は12.0悪化し▲8.0となっている。
- 製造業は、実績が25.0であり、見込みににおいて「増加」が減少し、「変化なし」が上昇したことからDIは10.0に低下したが、比較的売上状況は良いものとみられる。
- 建設業は、実績のDI値4.0が、見込では▲8.0に低下し、平成29年後半の景況が悪化している。
- 卸売業は、見込みににおいてDIは100.0悪化し▲50.0となっている。
- 小売業は、実績、見込共DIは▲36.0であり、売上の減少が続いている。
- 飲食店・宿泊業は、見込みににおいてDIが5.0改善し2.5となり、比較的安定した売上動向となっている。
- サービス業は、実績の▲7.6が見込みでは▲12.1に悪化している。
- 不動産業は、見込み、実績共にDI値50.0で変化はない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績▲16.7、見込▲50.0であり、売上の減少傾向が続いている。

2-1-2 売上原価



売上原価	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0		
実績								
全業種	128	5.5%	26.6%	41.4%	14.8%	10.2%	1.6%	▲ 1.2
製造業	20	5.0%	55.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	▲ 27.5
建設業	25	12.0%	16.0%	44.0%	8.0%	16.0%	4.0%	0.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	4.0%	16.0%	28.0%	32.0%	16.0%	4.0%	20.0
飲食宿泊業	20	5.0%	45.0%	30.0%	15.0%	5.0%	0.0%	▲ 15.0
サービス業	33	3.0%	15.2%	63.6%	6.1%	12.1%	0.0%	4.5
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3
変化（見込-実績）								
全業種	128	-2.3%	-7.0%	10.9%	-0.8%	-0.8%	0.0%	4.7
製造業	20	-5.0%	-5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0
建設業	25	-8.0%	-8.0%	8.0%	12.0%	-4.0%	0.0%	14.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	0.0%	16.0%	-20.0%	4.0%	0.0%	▲ 6.0
飲食宿泊業	20	5.0%	-15.0%	25.0%	-10.0%	-5.0%	0.0%	▲ 7.5
サービス業	33	-3.0%	-9.1%	12.1%	3.0%	-3.0%	0.0%	6.1
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3
見込								
全業種	128	3.1%	19.5%	52.3%	14.1%	9.4%	1.6%	3.5
製造業	20	0.0%	50.0%	35.0%	15.0%	0.0%	0.0%	▲ 17.5
建設業	25	4.0%	8.0%	52.0%	20.0%	12.0%	4.0%	14.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	4.0%	16.0%	44.0%	12.0%	20.0%	4.0%	14.0
飲食宿泊業	20	10.0%	30.0%	55.0%	5.0%	0.0%	0.0%	▲ 22.5
サービス業	33	0.0%	6.1%	75.8%	9.1%	9.1%	0.0%	10.6
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	66.7

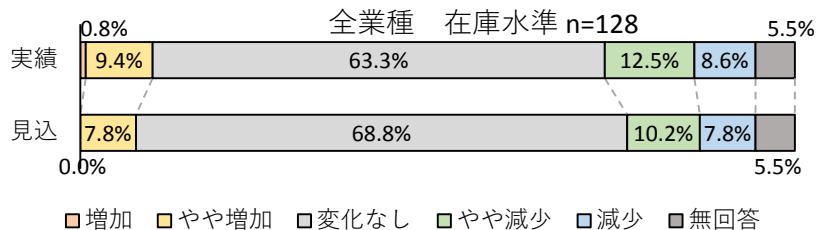
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲1.2であり、「変化なし」が41.4%で一番多いものの、「増加」「やや増加」合計32.1%、「やや減少」「減少」合計24.8%であり、平成29年前半において売上に準ずる形で事業環境が変化していることが窺える。
- 見込みにおけるDIは4.7良化し、3.5となっている。「変化なし」の割合が見込みにおいて52.3%へ10.9%上昇しており、「増加」「やや増加」「やや減少」の割合は下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種は、小売業（20.0）、サービス業（4.5）およびその他（33.3）、マイナスの業種は製造業（▲27.5）、飲食店・宿泊業（▲15.0）および不動産業（▲50.0）である。
- 見込みにおいて、建設業がプラス14.0、卸売業50.0、小売業14.0、サービス業が10.6となっている。製造業は実績より10.0良化したが▲17.5、飲食店・宿泊業は7.5悪化し▲22.5となっている。
- 製造業は、実績が▲27.5であり、見込みにおいて10.0良化したが▲17.5である。売上が良好であることから主に数量の増加による原価上昇とみられる。
- 建設業は、実績のDI値0.0が見込では14.0に良化しているが、売上減少によるものとみられる。
- 卸売業は、実績のDI値0.0が見込では50.0に上昇した。
- 小売業は、実績20.0、見込14.0で6.0悪化しており、売上の減少によるものとみられる。
- 飲食店・宿泊業は、実績▲15.0、見込み▲22.5であり、売上の安定した傾向を勘案すると、原価単価が上昇傾向にあるものとみられる。
- サービス業は、実績の4.5が見込みでは10.6になっており、売上の減少によるものとみられる。
- 不動産業は、実績、見込共▲50.0となっている。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが実績33.3、見込66.7であり、売上の減少によるものとみられる。

2-1-3 在庫水準



在庫水準	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0		
実績								
全業種	128	0.8%	9.4%	63.3%	12.5%	8.6%	5.5%	9.4
製造業	20	0.0%	20.0%	70.0%	5.0%	5.0%	0.0%	▲ 2.5
建設業	25	4.0%	12.0%	60.0%	16.0%	0.0%	8.0%	▲ 2.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	0.0%	52.0%	32.0%	12.0%	4.0%	28.0
飲食宿泊業	20	0.0%	10.0%	65.0%	15.0%	10.0%	0.0%	12.5
サービス業	33	0.0%	9.1%	63.6%	0.0%	15.2%	12.1%	10.6
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
変化（見込-実績）								
全業種	128	-0.8%	-1.6%	5.5%	-2.3%	-0.8%	0.0%	▲ 0.4
製造業	20	0.0%	-5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0
建設業	25	-4.0%	-8.0%	12.0%	-4.0%	4.0%	0.0%	10.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	4.0%	8.0%	-12.0%	0.0%	0.0%	▲ 8.0
飲食宿泊業	20	0.0%	0.0%	10.0%	-5.0%	-5.0%	0.0%	▲ 7.5
サービス業	33	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	-3.0%	0.0%	▲ 1.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
見込								
全業種	128	0.0%	7.8%	68.8%	10.2%	7.8%	5.5%	9.0
製造業	20	0.0%	15.0%	70.0%	10.0%	5.0%	0.0%	2.5
建設業	25	0.0%	4.0%	72.0%	12.0%	4.0%	8.0%	8.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	4.0%	60.0%	20.0%	12.0%	4.0%	20.0
飲食宿泊業	20	0.0%	10.0%	75.0%	10.0%	5.0%	0.0%	5.0
サービス業	33	0.0%	9.1%	63.6%	3.0%	12.1%	12.1%	9.1
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0

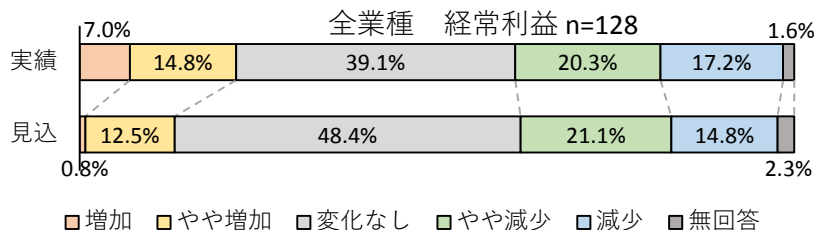
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは9.4であり、「変化なし」が63.3%となっている。「やや減少」「減少」合計21.1%が、「増加」「やや増加」合計10.2%を上回り、在庫水準は減少傾向にある。
- 見込みにおけるDIは0.4悪化したものの、ほぼ実績と同レベルの9.0となっている。「変化なし」の割合が68.8%に上昇しており、在庫水準は比較的安定した状態が続いている。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがマイナスの業種は、製造業（▲2.5）および建設業（▲2.0）などの売上が増加している業種であり、売上が低下している小売業DIは28.0と在庫調整が進んでいるものとみられる。飲食店・宿泊業（2.5）およびサービス業（10.6）も在庫量の減少が進んでいる。
- 見込みにおいては、すべての業種でDI値がプラスとなっている。売上減少の大きい小売業はDI値20.0と引き続き在庫水準の減少が続いており、サービス業（9.1）、建設業（8.0）も在庫は減少傾向にある。
- 製造業は、実績▲2.5から見込み2.5に若干改善しており、比較的安定した売上状況を反映したものとみられる。
- 建設業は、実績▲2.0から見込み8.0に改善され、平成29年後半の売上悪化に対応し在庫水準を減らす見込であるものとみられる。
- 卸売業は、実績、見込みとも「変化なし」となっている。
- 小売業は、実績28.0から見込20.0へ8.0悪化した。売上の減少が続いている状況から在庫水準が高くなっているものとみられる。
- 飲食店・宿泊業は、実績12.5から見込み5.0へ7.5悪化した。比較的安定した売上動向に対応しているものとみられる。
- サービス業は、実績10.6に対し見込み9.1とほぼ同レベルにある。
- 不動産業は、実績、見込みとも「変化なし」となっている。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績、見込みとも「変化なし」となっている。

2-1-4 経常利益



経常利益	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	7.0%	14.8%	39.1%	20.3%	17.2%	1.6%	▲ 12.9
製造業	20	15.0%	30.0%	25.0%	15.0%	15.0%	0.0%	7.5
建設業	25	16.0%	12.0%	40.0%	12.0%	16.0%	4.0%	0.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	8.0%	32.0%	36.0%	20.0%	4.0%	▲ 34.0
飲食宿泊業	20	5.0%	15.0%	45.0%	20.0%	15.0%	0.0%	▲ 12.5
サービス業	33	3.0%	9.1%	48.5%	18.2%	21.2%	0.0%	▲ 22.7
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7
変化（見込-実績）								
全業種	128	-6.3%	-2.3%	9.4%	0.8%	-2.3%	0.8%	▲ 5.5
製造業	20	-15.0%	0.0%	20.0%	5.0%	-10.0%	0.0%	▲ 7.5
建設業	25	-12.0%	-4.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 14.0
卸売業	1	0.0%	-100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 100.0
小売業	25	0.0%	0.0%	-4.0%	-8.0%	8.0%	4.0%	▲ 4.0
飲食宿泊業	20	-5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	-5.0%	0.0%	0.0
サービス業	33	-3.0%	-3.0%	12.1%	3.0%	-9.1%	0.0%	3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	▲ 33.3
見込								
全業種	128	0.8%	12.5%	48.4%	21.1%	14.8%	2.3%	▲ 18.4
製造業	20	0.0%	30.0%	45.0%	20.0%	5.0%	0.0%	▲ 0.0
建設業	25	4.0%	8.0%	56.0%	12.0%	16.0%	4.0%	▲ 14.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	0.0%	8.0%	28.0%	28.0%	28.0%	8.0%	▲ 38.0
飲食宿泊業	20	0.0%	15.0%	55.0%	20.0%	10.0%	0.0%	▲ 12.5
サービス業	33	0.0%	6.1%	60.6%	21.2%	12.1%	0.0%	▲ 19.7
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	▲ 50.0

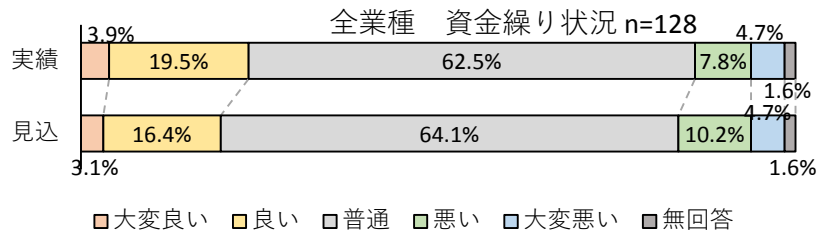
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲12.9であった。「変化なし」が39.1%で一番多く、「やや減少」「減少」が合計37.5%であり「増加」「やや増加」合計21.8%をかなり上回っている。
- 見込みにおけるDIは5.5悪化し、▲18.4となっている。「変化なし」の割合が見込みにおいて9.4%上昇し48.4%になっている。「増加」「やや増加」の割合が合計で8.6%下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種は、製造業（7.5）および卸売業、不動産業（それぞれ50.0）である。小売業（▲34.0）、サービス業（▲22.7）、飲食店・宿泊業（▲12.5）およびその他（▲16.7）は悪化している。
- 見込みにおいて、不動産業を除くすべての業種のDIはマイナスとなっている。小売業（▲38.0）、サービス業（▲19.7）の状況がよくない。
- 製造業は、実績が7.5であったが、見込みにおいて0.0に悪化した。実績では増加の割合が15.0%であったものが、見込みでは0.0%になった。
- 建設業は、実績のDI値0.0が見込みでは▲14.0に低下している。これは「増加」「やや増加」が減少し、その分「変化なし」が増えたことによる。
- 卸売業は、実績で「やや増加」が100%であったものが、見込みでは「やや減少」100%に転じたことにより、DIが100.0減少した。
- 小売業は、実績DI▲34.0が見込みで▲38.0に更に低下し、状況は全業種中で一番悪いレベルにある。
- 飲食店・宿泊業は、実績および見込みにおいてDIは▲12.5で変化はない。
- サービス業は、実績の▲22.7が見込みでは▲19.7に若干改善したが、引き続き状況はよくない。
- 不動産業は、見込み50.0は実績50.0と比べ変化はない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績▲16.7、見込▲50.0であり、減少傾向が続いている。

2-1-5 資金繰り状況



資金繰り状況	n	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	3.9%	19.5%	62.5%	7.8%	4.7%	1.6%	5.1
製造業	20	10.0%	30.0%	45.0%	5.0%	10.0%	0.0%	12.5
建設業	25	4.0%	28.0%	56.0%	8.0%	0.0%	4.0%	14.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	4.0%	16.0%	64.0%	4.0%	8.0%	4.0%	2.0
飲食宿泊業	20	5.0%	20.0%	65.0%	5.0%	5.0%	0.0%	7.5
サービス業	33	0.0%	9.1%	75.8%	12.1%	3.0%	0.0%	▲ 4.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0
変化（見込-実績）								
全業種	128	-0.8%	-3.1%	1.6%	2.3%	0.0%	0.0%	▲ 3.5
製造業	20	-5.0%	5.0%	-5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	▲ 5.0
建設業	25	0.0%	-4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 2.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	-8.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	▲ 6.0
飲食宿泊業	20	0.0%	0.0%	-5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	▲ 5.0
サービス業	33	0.0%	-3.0%	6.1%	0.0%	-3.0%	0.0%	1.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 33.3
見込								
全業種	128	3.1%	16.4%	64.1%	10.2%	4.7%	1.6%	1.6
製造業	20	5.0%	35.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	7.5
建設業	25	4.0%	24.0%	60.0%	8.0%	0.0%	4.0%	12.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	4.0%	8.0%	68.0%	8.0%	8.0%	4.0%	▲ 4.0
飲食宿泊業	20	5.0%	20.0%	60.0%	5.0%	10.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	0.0%	6.1%	81.8%	12.1%	0.0%	0.0%	▲ 3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	▲ 33.3

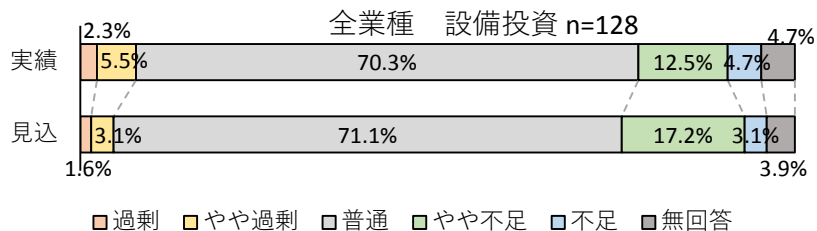
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは5.1であった。「変化なし」が62.5%で一番多く、「増加」「やや増加」合計23.4%、「やや減少」「減少」合計12.5%であり、平成29年前半において資金繰りは概ね変化なしか若干改善しているものとみられる。
- 見込みにおけるDIは3.5悪化し、1.6となっている。「変化なし」の割合が見込みにおいて1.6%上昇し64.1%上昇になっており、「増加」「やや増加」の割合は下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、サービス業（DI▲4.5）を除き、概ねDIはプラスとなっている。建設業（14.0）、製造業（12.5）の状況がよく、飲食店・宿泊業（7.5）、小売業（2.0）も概ね普通以上の資金繰り状況とみられる。
- 見込みにおいて、製造業、建設業、飲食店・宿泊業、その他の状況が若干悪化しているが、引き続き資金繰りは普通以上の状況が続いている。小売業、サービス業およびその他はDIがマイナスとなっている。
- 製造業は、実績が12.5であるが、見込みは3.5低下したものの7.5であり、引き続き安定した資金繰り状況であるものとみられる。
- 建設業は、実績が14.0であるが、見込みは2.0低下したものの12.0であり、引き続き安定した資金繰り状況であるものとみられる。
- 卸売業は、実績および見込み共に「変化なし」100%であり安定している。
- 小売業は、実績2.0が見込▲4.0に若干悪化した。
- 飲食店・宿泊業は、見込みにおいてDIが5.0悪化し2.5となったが、比較的安定した資金繰り動向となっている。
- サービス業は、実績の▲4.5が見込みでは▲3.0に微動した。
- 不動産業は、実績および見込み共に「変化なし」100%であり安定している。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績0.0が見込▲33.3に悪化している。

2-1-6 設備投資



◆ 全業種傾向

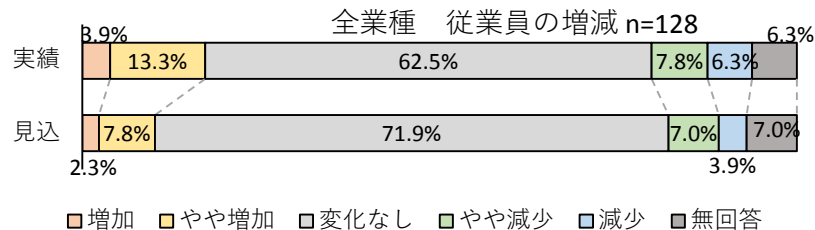
- 実績におけるDIは5.9であった。「普通」が70.3%で一番多く、概ね経営状況に対応した設備を保有しているものとみられる。
- 見込みにおけるDIは2.7良化し、8.6となっている。大幅な設備投資や廃棄は行われる予定となっていないものとみられる。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種は、小売業（14.0）、飲食店・宿泊業（10.0）、サービス業（4.5）等の売上が減少している業種および建設業（4.0）、不動産業（50.0）である。
- 見込みにおいて、卸売業を除き大きな変動はない。
- 製造業は、実績、見込み共にDI値は▲2.5であり、一部過剰設備がみられるものの設備規模に大きな変化はないものとみられる。
- 建設業は、実績のDI値4.0が見込では6.0に上昇したが、設備規模に大きな変化はないものとみられる。
- 卸売業は、実績の「やや過剰」から見込の「普通」に変化した。
- 小売業は、実績のDI値14.0が見込では16.0に若干上昇した。設備規模はやや不足気味で推移している。
- 飲食店・宿泊業は、実績のDI値10.0が見込では17.5に上昇した。設備規模はやや不足気味で推移している。
- サービス業は、実績、見込み共にDI値は4.5であるが、見込みの内容としては「普通」の割合が増えている。
- 不動産業は、実績および見込み共に「やや不足」100%で変化はない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績のDI値0.0が見込では16.7に上昇した。設備規模はやや不足気味で推移している。

設備投資	n	過剰	やや過剰	普通	やや不足	不足	無回答	DI
DI点数		-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0		
実績								
全業種	128	2.3%	5.5%	70.3%	12.5%	4.7%	4.7%	5.9
製造業	20	10.0%	5.0%	65.0%	20.0%	0.0%	0.0%	▲ 2.5
建設業	25	0.0%	8.0%	76.0%	8.0%	4.0%	4.0%	4.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	0.0%	0.0%	72.0%	4.0%	12.0%	12.0%	14.0
飲食宿泊業	20	0.0%	5.0%	75.0%	15.0%	5.0%	0.0%	10.0
サービス業	33	3.0%	6.1%	66.7%	15.2%	3.0%	6.1%	4.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
変化（見込-実績）								
全業種	128	-0.8%	-2.3%	0.8%	4.7%	-1.6%	-0.8%	2.7
製造業	20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
建設業	25	0.0%	-8.0%	8.0%	4.0%	-4.0%	0.0%	2.0
卸売業	1	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	-4.0%	2.0
飲食宿泊業	20	0.0%	0.0%	-15.0%	15.0%	0.0%	0.0%	7.5
サービス業	33	-3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	-3.0%	0.0%	0.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7
見込								
全業種	128	1.6%	3.1%	71.1%	17.2%	3.1%	3.9%	8.6
製造業	20	10.0%	5.0%	65.0%	20.0%	0.0%	0.0%	▲ 2.5
建設業	25	0.0%	0.0%	84.0%	12.0%	0.0%	4.0%	6.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	0.0%	72.0%	8.0%	12.0%	8.0%	16.0
飲食宿泊業	20	0.0%	5.0%	60.0%	30.0%	5.0%	0.0%	17.5
サービス業	33	0.0%	6.1%	72.7%	15.2%	0.0%	6.1%	4.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7

2-1-7 雇用状況 -1 従業員の増減



従業員の増減	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	3.9%	13.3%	62.5%	7.8%	6.3%	6.3%	0.4
製造業	20	10.0%	20.0%	60.0%	5.0%	5.0%	0.0%	12.5
建設業	25	8.0%	12.0%	52.0%	8.0%	8.0%	12.0%	2.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	4.0%	72.0%	12.0%	4.0%	8.0%	▲ 8.0
飲食宿泊業	20	0.0%	30.0%	60.0%	5.0%	5.0%	0.0%	7.5
サービス業	33	3.0%	6.1%	66.7%	6.1%	9.1%	9.1%	▲ 6.1
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
変化（見込-実績）								
全業種	128	-1.6%	-5.5%	9.4%	-0.8%	-2.3%	0.8%	▲ 1.6
製造業	20	-10.0%	-5.0%	20.0%	0.0%	-5.0%	0.0%	▲ 7.5
建設業	25	0.0%	-8.0%	12.0%	4.0%	-8.0%	0.0%	2.0
卸売業	1	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	4.0%	4.0%	-4.0%	-8.0%	4.0%	0.0%	6.0
飲食宿泊業	20	0.0%	-20.0%	30.0%	-5.0%	-5.0%	0.0%	▲ 2.5
サービス業	33	-3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	▲ 3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7
見込								
全業種	128	2.3%	7.8%	71.9%	7.0%	3.9%	7.0%	▲ 1.2
製造業	20	0.0%	15.0%	80.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0
建設業	25	8.0%	4.0%	64.0%	12.0%	0.0%	12.0%	4.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	4.0%	8.0%	68.0%	4.0%	8.0%	8.0%	▲ 2.0
飲食宿泊業	20	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0
サービス業	33	0.0%	6.1%	66.7%	6.1%	9.1%	12.1%	▲ 9.1
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7

◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは0.4であった。「変化なし」が62.5%で一番多く、概ね従業員数の大幅な変化はみられない。
- 見込みにおけるDIは若干低下し、▲1.2となっている。これは「変化なし」の割合が若干上昇し71.9%となったことによるが、大幅な従業員数の変化はみられない。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種（従業員数が増加傾向にある業種）は、製造業（12.5）、建設業（2.0）等の売上が増加している業種および飲食店・宿泊業（7.5）である（卸売業もサンプル数が1であるがDI値50.0）。マイナスの業種は小売業（▲8.0）、サービス業（▲6.1）および不動産業（▲50.0）である。
- 見込みにおいては、実績から大きな変動はなく、プラスの業種は、製造業（5.0）、建設業（4.0）、飲食店・宿泊業（5.0）である。マイナスな業種は小売業（▲2.0）、サービス業（▲9.1）および不動産業（▲50.0）およびその他（▲16.7）である。
- 製造業は、実績が12.5であり、見込みにおいて「変化なし」が上昇したことからDIは5.0に低下したが、従業員数は安定している。
- 建設業は、実績が2.0であり、見込みは4.0に微増したが、従業員数は安定している。
- 卸売業は、実績DI値50.0が見込み0.0に低下したが、「やや増加」が「変化なし」に転じたことによるものである。
- 小売業は、実績の▲8.0が見込みでは▲2.0に改善している。
- 飲食店・宿泊業は、実績の7.5が見込みでは5.0に微減したが、状況に大きな変更はみられない。
- サービス業は、実績の▲6.1が見込みでは▲9.1に微減したが、状況に大きな変更はみられない。
- 不動産業は、実績、見込み共に「やや減少」が100%で、DI値▲50.0で変化ない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績0.0、見込▲16.7であり、従業員数の減少傾向がみられる。

2-1-7 雇用状況 -2 従業員の定着率

全業種 従業員の定着率 n=128					
実績	11.7%	23.4%	43.8%	7.0%	14.1%
				0.0%	
見込	11.7%	23.4%	43.8%	6.3%	14.1%
				0.8%	

■ 大変良い
 ■ 良い
 ■ 普通
 ■ 悪い
 ■ 大変悪い
 ■ 無回答

従業員の定着率	n	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	11.7%	23.4%	43.8%	7.0%	0.0%	14.1%	19.9
製造業	20	5.0%	35.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%	17.5
建設業	25	8.0%	20.0%	48.0%	12.0%	0.0%	12.0%	12.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	8.0%	12.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	14.0
飲食宿泊業	20	20.0%	35.0%	25.0%	10.0%	0.0%	10.0%	32.5
サービス業	33	18.2%	21.2%	42.4%	3.0%	0.0%	15.2%	27.3
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7
変化（見込-実績）								
全業種	128	0.0%	0.0%	0.0%	-0.8%	0.8%	0.0%	▲ 0.4
製造業	20	0.0%	-5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 2.5
建設業	25	0.0%	4.0%	-4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	4.0%	-4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0
飲食宿泊業	20	0.0%	0.0%	5.0%	-5.0%	0.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	0.0%	-3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	▲ 4.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
見込								
全業種	128	11.7%	23.4%	43.8%	6.3%	0.8%	14.1%	19.5
製造業	20	5.0%	30.0%	45.0%	10.0%	0.0%	10.0%	15.0
建設業	25	8.0%	24.0%	44.0%	12.0%	0.0%	12.0%	14.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	8.0%	16.0%	56.0%	0.0%	0.0%	20.0%	16.0
飲食宿泊業	20	20.0%	35.0%	30.0%	5.0%	0.0%	10.0%	35.0
サービス業	33	18.2%	18.2%	42.4%	3.0%	3.0%	15.2%	22.7
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7

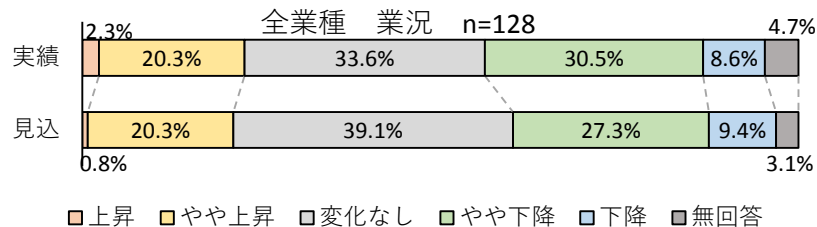
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは19.9であり、従業員の定着率は概ね良いものとみられる。「変化なし」が43.8%で一番多く、「よい」が23.4%、「大変良い」が11.7%となっている。
- 見込みににおけるDIは19.5であり実績とはほぼ変わらない。内容も「変化なし」、「よい」、「大変良い」は実績と同数値となっている。

◆ 業種別傾向

- 実績において、不動産業を除いてすべての業種でDIはプラスとなっている。飲食店・宿泊業が32.5で一番定着率が高くなっており、以下サービス業（27.3）、製造業（17.5）、その他（16.7）、小売業（14.0）、建設業（12.0）となっている。
- 見込みにおいては、実績から大きな変動はなく、全業種共ほぼ同様なDI値となっている。
- 製造業は、実績が17.5であり、見込みにおいて「良い」が下降し「普通」が上昇したことからDIは15.0に微減したが、従業員定着率は安定している。
- 建設業は、実績が12.0であり、見込みは14.0に微減したが、従業員定着率は安定している。
- 卸売業は、実績、見込共に「普通」が100%で変化ない。
- 小売業は、実績が14.0であり、見込みは16.0に微増したが、従業員定着率は安定している。
- 飲食店・宿泊業は、実績が32.5であり、見込みは35.0に微増したが、従業員定着率は安定している。
- サービス業は、実績が27.3であり、見込みは22.7に微減したが、従業員定着率は安定している。
- 不動産業は、実績、見込共に「悪い」が100%で変化ない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績、見込共にDI値16.7で変化ない。

2-1-8 業況の実績と見通し -1 業況



業況	n	上昇	やや上昇	変化なし	やや下降	下降	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	2.3%	20.3%	33.6%	30.5%	8.6%	4.7%	▲ 11.3
製造業	20	5.0%	45.0%	25.0%	15.0%	5.0%	5.0%	15.0
建設業	25	0.0%	16.0%	40.0%	40.0%	0.0%	4.0%	▲ 12.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	0.0%	12.0%	20.0%	44.0%	16.0%	8.0%	▲ 32.0
飲食宿泊業	20	5.0%	10.0%	55.0%	25.0%	5.0%	0.0%	▲ 7.5
サービス業	33	3.0%	18.2%	33.3%	24.2%	15.2%	6.1%	▲ 15.2
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	▲ 33.3
変化（見込-実績）								
全業種	128	-1.6%	0.0%	5.5%	-3.1%	0.8%	-1.6%	▲ 0.8
製造業	20	-5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	-5.0%	▲ 7.5
建設業	25	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
卸売業	1	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	0.0%	4.0%	12.0%	-20.0%	4.0%	0.0%	8.0
飲食宿泊業	20	0.0%	0.0%	5.0%	-5.0%	0.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	-3.0%	0.0%	6.1%	3.0%	-3.0%	-3.0%	▲ 1.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	▲ 33.3
見込								
全業種	128	0.8%	20.3%	39.1%	27.3%	9.4%	3.1%	▲ 12.1
製造業	20	0.0%	45.0%	30.0%	20.0%	5.0%	0.0%	7.5
建設業	25	0.0%	16.0%	40.0%	40.0%	0.0%	4.0%	▲ 12.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	16.0%	32.0%	24.0%	20.0%	8.0%	▲ 24.0
飲食宿泊業	20	5.0%	10.0%	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%	▲ 5.0
サービス業	33	0.0%	18.2%	39.4%	27.3%	12.1%	3.0%	▲ 16.7
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	▲ 66.7

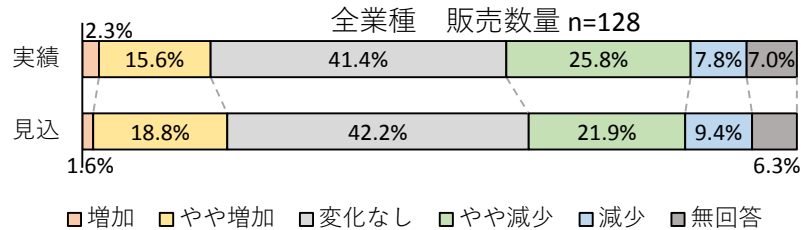
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲11.3であり業況は下降傾向にある。「変化なし」が33.6%で一番多いものの、「上昇」「やや上昇」合計22.6%、「やや下降」「下降」合計39.1%であり、平成29年前半において事業環境が下降傾向で変化していることが窺える。
- 見込みにおけるDIは▲12.1となっており、引き続き悪化傾向にある。「変化なし」の割合が見込みにおいて33.6%から39.1%へ5.5%上昇しており、「上昇」「やや下降」の割合は下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、DIがプラスの業種は、製造業が15.0、卸売業、不動産業それぞれ50.0であり、その他の業種は、小売業（▲32.0）、サービス業（▲15.2）、建設業（▲12.0）および飲食店・宿泊業（▲7.5）となっている。
- 見込みにおいて、製造業は7.5だが、実績より7.5ポイント減少している。小売業は実績より8.0改善しているものの▲24.0であり、サービス業（▲16.7）、建設業（▲12.0）および飲食店・宿泊業（▲5.0）も実績同様マイナスとなっている。
- 製造業は、実績が15.0であり「やや上昇」が45.0%と一番多い。見込みにおいて「上昇」が減少したことよりDIは7.5に低下したが、比較的業況は良いものとみられる。
- 建設業は、実績、見込共DIは▲12.0で、下降傾向の業況が続いている。
- 卸売業は、「やや上昇」が「変化なし」に変わったことにより、実績DI値50.0が見込み0.0に減少した。
- 小売業は、実績DI▲32.0、見込▲24.0であり、若干改善したものの厳しい業況が続いている。
- 飲食店・宿泊業は、実績DI▲7.5、見込▲5.0であり、若干の下降傾向が続いている。
- サービス業は、実績DI▲15.2、見込▲16.7であり、下降傾向が続いている。
- 不動産業は、実績、見込共DIは50.0で変化はない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績▲33.3、見込▲66.7であり、大幅な下降傾向が続いている。

2-1-8 業況の実績と見通し -2 販売数量



販売数量	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	2.3%	15.6%	41.4%	25.8%	7.8%	7.0%	▲ 10.5
製造業	20	10.0%	35.0%	25.0%	15.0%	5.0%	10.0%	15.0
建設業	25	0.0%	12.0%	52.0%	24.0%	0.0%	12.0%	▲ 6.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	12.0%	24.0%	48.0%	12.0%	4.0%	▲ 30.0
飲食宿泊業	20	5.0%	10.0%	55.0%	25.0%	5.0%	0.0%	▲ 7.5
サービス業	33	0.0%	12.1%	48.5%	15.2%	15.2%	9.1%	▲ 16.7
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	▲ 33.3
変化（見込-実績）								
全業種	128	-0.8%	3.1%	0.8%	-3.9%	1.6%	-0.8%	1.2
製造業	20	-5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	-5.0%	▲ 7.5
建設業	25	0.0%	4.0%	0.0%	-4.0%	0.0%	0.0%	4.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	4.0%	8.0%	-20.0%	8.0%	0.0%	4.0
飲食宿泊業	20	0.0%	5.0%	0.0%	-5.0%	0.0%	0.0%	5.0
サービス業	33	0.0%	3.0%	-3.0%	3.0%	-3.0%	0.0%	3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	▲ 33.3
見込								
全業種	128	1.6%	18.8%	42.2%	21.9%	9.4%	6.3%	▲ 9.4
製造業	20	5.0%	35.0%	30.0%	20.0%	5.0%	5.0%	7.5
建設業	25	0.0%	16.0%	52.0%	20.0%	0.0%	12.0%	▲ 2.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	16.0%	32.0%	28.0%	20.0%	4.0%	▲ 26.0
飲食宿泊業	20	5.0%	15.0%	55.0%	20.0%	5.0%	0.0%	▲ 2.5
サービス業	33	0.0%	15.2%	45.5%	18.2%	12.1%	9.1%	▲ 13.6
不動産業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	▲ 66.7

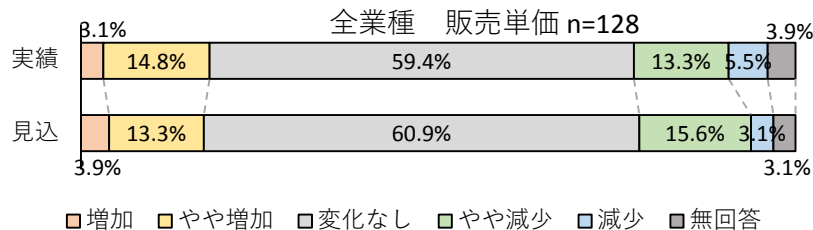
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲10.5であり販売数量は減少傾向にある。「変化なし」が41.4%で一番多く、「増加」「やや増加」合計17.9%、「やや減少」「減少」合計33.6%であり、平成29年前半において販売数量が減少傾向となっていることが窺える。
- 見込みにおけるDIは▲9.4となっており、引き続き下降傾向にある。「変化なし」の割合は見込みにおいて42.2%であり、「やや増加」が上昇し「やや減少」が下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績は業況と同様の傾向を示しており、DIがプラスの業種は、製造業（15.0）、不動産業（50.0）であり、その他の業種は、小売業（▲30.0）、サービス業（▲16.7）、建設業（▲6.0）および飲食店・宿泊業（▲7.5）、その他（▲33.3）である。
- 見込みにおいて、製造業は7.5だが、実績より7.5ポイント減少している。小売業は実績より4.0改善しているものの▲26.0であり、サービス業（▲13.6）、建設業（▲2.0）および飲食店・宿泊業（▲2.5）、その他（▲66.7）も実績同様マイナスとなっている。
- 製造業は、実績が15.0であり「やや増加」が35.0%と一番多い。見込みにおいて「増加」が減少したことよりDIは7.5に低下したが、販売数量は増加傾向にあるものとみられる。
- 建設業は、実績DI▲6.0、見込▲2.0であり、若干の下降傾向が続いている。
- 卸売業は、実績、見込共「変化なし」100.0%で、DI値も0.0で変化はない。
- 小売業は、実績DI▲30.0、見込▲26.0であり、厳しい業況が続いている。
- 飲食店・宿泊業は、実績DI▲7.5、見込▲2.5であり、若干の下降傾向が続いている。
- サービス業は、実績DI▲16.7、見込▲13.6であり、下降傾向が続いている。
- 不動産業は、実績、見込共DIは50.0で変化はない。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績▲33.3、見込▲66.7であり、大幅な下降傾向が続いている。

2-1-8 業況の実績と見通し -3 販売単価



販売単価	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		1.0	0.5	0.0	-0.5	-1.0		
実績								
全業種	128	3.1%	14.8%	59.4%	13.3%	5.5%	3.9%	▲ 1.6
製造業	20	0.0%	20.0%	65.0%	5.0%	5.0%	5.0%	2.5
建設業	25	0.0%	20.0%	52.0%	16.0%	4.0%	8.0%	▲ 2.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	8.0%	12.0%	36.0%	32.0%	8.0%	4.0%	▲ 10.0
飲食宿泊業	20	5.0%	15.0%	65.0%	10.0%	5.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	3.0%	9.1%	75.8%	3.0%	6.1%	3.0%	0.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7
変化（見込-実績）								
全業種	128	0.8%	-1.6%	1.6%	2.3%	-2.3%	-0.8%	1.2
製造業	20	0.0%	10.0%	-5.0%	0.0%	0.0%	-5.0%	5.0
建設業	25	0.0%	-8.0%	4.0%	8.0%	-4.0%	0.0%	▲ 4.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	4.0%	0.0%	8.0%	-8.0%	-4.0%	0.0%	12.0
飲食宿泊業	20	5.0%	-5.0%	-5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0
サービス業	33	-3.0%	-3.0%	9.1%	0.0%	-3.0%	0.0%	▲ 1.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	-33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	▲ 16.7
見込								
全業種	128	3.9%	13.3%	60.9%	15.6%	3.1%	3.1%	▲ 0.4
製造業	20	0.0%	30.0%	60.0%	5.0%	5.0%	0.0%	7.5
建設業	25	0.0%	12.0%	56.0%	24.0%	0.0%	8.0%	▲ 6.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0
小売業	25	12.0%	12.0%	44.0%	24.0%	4.0%	4.0%	2.0
飲食宿泊業	20	10.0%	10.0%	60.0%	15.0%	5.0%	0.0%	2.5
サービス業	33	0.0%	6.1%	84.8%	3.0%	3.0%	3.0%	▲ 1.5
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	▲ 33.3

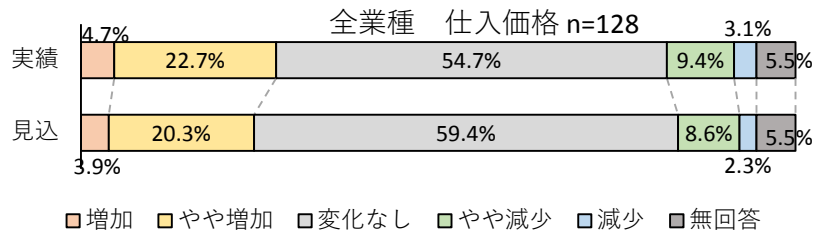
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲1.6で全体としては安定傾向にある。「変化なし」が59.4%で一番多いが、「増加」「やや増加」が合計17.9%、「やや減少」「減少」が合計18.8%であり、1/3以上の事業所において販売単価の変動が起きていることが窺える。
- 見込みにおけるDIは▲0.4で安定傾向にある。「変化なし」が60.9%で一番多いが、「増加」「やや増加」が合計17.2%、「やや減少」「減少」が合計18.7%であり、1/3以上の事業所において引き続き販売単価の変動が起きていることが窺える。

◆ 業種別傾向

- 実績は、業種によるDI値の変動は少ない（卸売業はプラス50.0だがサンプル数が1である）。DIがプラスの業種は、製造業（2.5）および飲食店・宿泊業（2.5）であり、小売業（▲10.0）、建設業（▲2.0）はマイナスとなっている。
- 見込みにおいても業種によるDI値の変動は少ない。製造業は7.5で実績より5.0ポイント上昇している。小売業は実績より12.0改善し2.0となった。
- 製造業は、実績が2.5、見込が7.5で販売単価は若干増加傾向にある。
- 建設業は、実績が▲2.0、見込が▲6.0で販売単価は若干減少傾向にある。
- 卸売業は、実績、見込共「やや増加」100.0%で、DI値も50.0で変化はない。
- 小売業は、実績が▲10.0、見込が2.0で販売単価は増加傾向にある。
- 飲食店・宿泊業は、実績、見込共DI値も2.5で変化はない。
- サービス業は、実績が0.0、見込が▲1.5で販売単価は若干減少傾向である。
- 不動産業は、実績「変化なし」が100%であったものが、見込「やや減少」100%となりDIは50.0ポイント低下した。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが、実績▲16.7、見込▲33.3であり、下降傾向が続いている。

2-1-8 業況の実績と見通し -4 仕入価格



仕入価格	n	増加	やや増加	変化なし	やや減少	減少	無回答	DI
DI点数		-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0		
実績								
全業種	128	4.7%	22.7%	54.7%	9.4%	3.1%	5.5%	▲ 8.2
製造業	20	5.0%	30.0%	60.0%	0.0%	0.0%	5.0%	▲ 20.0
建設業	25	4.0%	24.0%	48.0%	12.0%	0.0%	12.0%	▲ 10.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	8.0%	16.0%	44.0%	24.0%	4.0%	4.0%	▲ 0.0
飲食宿泊業	20	5.0%	25.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	▲ 15.0
サービス業	33	3.0%	21.2%	57.6%	3.0%	9.1%	6.1%	▲ 3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7
変化（見込-実績）								
全業種	128	-0.8%	-2.3%	4.7%	-0.8%	-0.8%	0.0%	0.8
製造業	20	-5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	-5.0%	2.5
建設業	25	0.0%	-8.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.0
卸売業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
小売業	25	0.0%	4.0%	8.0%	-12.0%	0.0%	0.0%	▲ 8.0
飲食宿泊業	20	0.0%	5.0%	-5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 2.5
サービス業	33	0.0%	-12.1%	12.1%	0.0%	-3.0%	3.0%	3.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	-100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
見込								
全業種	128	3.9%	20.3%	59.4%	8.6%	2.3%	5.5%	▲ 7.4
製造業	20	0.0%	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 17.5
建設業	25	4.0%	16.0%	52.0%	16.0%	0.0%	12.0%	▲ 4.0
卸売業	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲ 50.0
小売業	25	8.0%	20.0%	52.0%	12.0%	4.0%	4.0%	▲ 8.0
飲食宿泊業	20	5.0%	30.0%	60.0%	5.0%	0.0%	0.0%	▲ 17.5
サービス業	33	3.0%	9.1%	69.7%	3.0%	6.1%	9.1%	0.0
不動産業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0
その他	3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7

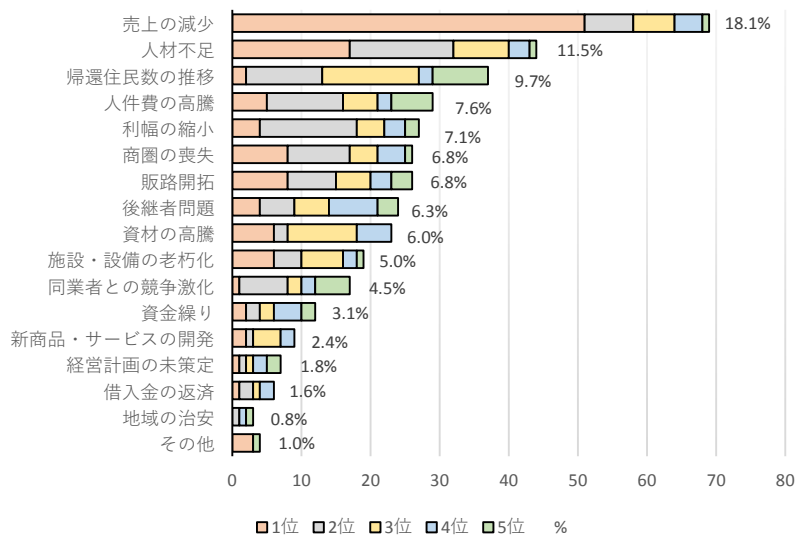
◆ 全業種傾向

- 実績におけるDIは▲8.2である。「変化なし」が54.7%で一番多いものの、「増加」「やや増加」合計27.4%、「やや減少」「減少」合計12.5%であり、平成29年前半において仕入価格が上昇傾向にあったことが窺える。
- 見込みにおけるDIは▲7.4であり実績から大きな変動はなかった。「変化なし」の割合が見込みにおいて59.4%へ5.0%上昇しており、「増加」「やや増加」「やや減少」「減少」の割合は下降している。

◆ 業種別傾向

- 実績において、その他業種以外はDIは概ねマイナスとなっている。製造業は▲20.0、飲食店・宿泊業▲15.0、建設業▲10.0、サービス業▲3.0、卸売業▲50.0であり、広範囲な業種において仕入価格の増加があったことが窺える。
- 見込みにおいても状況に大きな変化はなく、製造業は▲17.5、飲食店・宿泊業▲17.5、小売業▲8.0、建設業▲4.0、サービス業0.0、卸売業▲50.0であり、広範囲な業種において仕入価格の増加傾向が続いている。
- 製造業は、実績が▲20.0、見込が▲17.5で仕入れ価格は増加傾向が続いている。
- 建設業は、実績が▲10.0、見込が▲4.0で仕入れ価格は若干改善したものの増加傾向が続いている。
- 卸売業は、実績、見込共に「やや増加」100%で変化がない。
- 小売業は、実績が▲0.0、見込が▲8.0で仕入れ価格は増加傾向にある。
- 飲食店・宿泊業は、実績が▲15.0、見込が▲17.5で仕入れ価格は増加傾向が続いている。
- サービス業は、実績が▲3.0、見込が0.0で仕入れ価格は安定している。
- 不動産業は、実績の「変化なし」が、見込「やや減少」に転じた。
- その他は、共同販売事業、石材店、林業であるが実績、見込共にDI値は16.7で変化はない。

2-2-1 経営上の課題



◆ 全業種傾向

- 経営の課題として1位から5位のいずれかにあげられたものを集計すると、「売上の減少」が最も多く（全体の18.1%）、以下「人材不足」（11.5%）、「帰還住民数の推移」（9.7%）、「人件費の高騰」（7.6%）「利幅の縮小」（7.1%）と続く。
- 経営上の課題の1位にあげられたものは、「売上の減少」が最も多く、「人材不足」「商圏の喪失」「販路開拓」等が続いている。

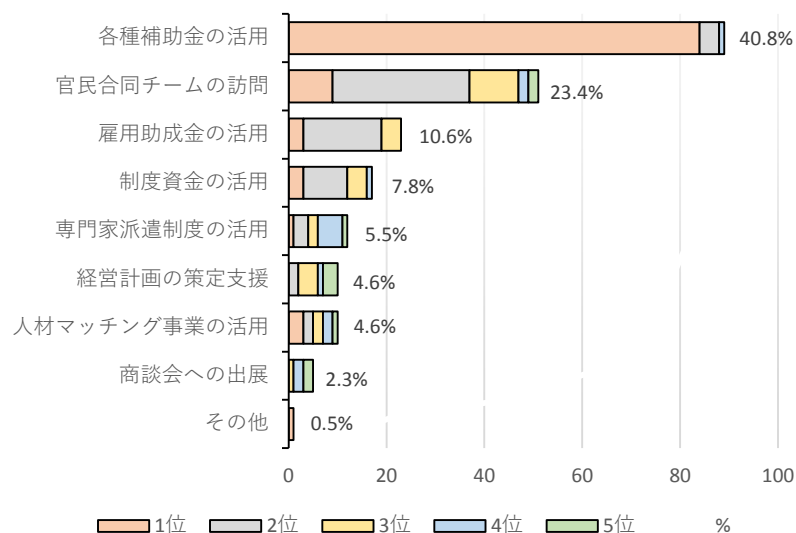
◆ 業種別傾向

- 製造業は、「売上の減少」および「販路開拓」がそれぞれ13.0%で一番多い。
- 建設業は、「人材不足」（19.2%）が一番多く、「売上の減少」（14.1%）、「資材の高騰」（12.8%）と続いている。
- 卸売業は、「売上の減少」「資材の高騰」「同業者との競争激化」「資金繰り」があげられている。

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	飲食宿泊業	サービス業	不動産業	その他
総回答数	382	54	78	5	64	65	105	5	6
売上の減少	18.1%	13.0%	14.1%	20.0%	26.6%	13.8%	21.0%	20.0%	16.7%
人材不足	11.5%	11.1%	19.2%	-	6.3%	13.8%	8.6%	20.0%	-
帰還住民数の推移	9.7%	11.1%	5.1%	-	14.1%	7.7%	11.4%	20.0%	-
人件費の高騰	7.6%	3.7%	10.3%	-	1.6%	16.9%	5.7%	-	16.7%
利幅の縮小	7.1%	1.9%	6.4%	-	7.8%	9.2%	8.6%	-	16.7%
販路開拓	6.8%	13.0%	6.4%	-	6.3%	3.1%	5.7%	20.0%	16.7%
商圏の喪失	6.8%	5.6%	2.6%	-	15.6%	1.5%	9.5%	-	-
後継者問題	6.3%	7.4%	5.1%	-	4.7%	9.2%	6.7%	-	-
資材の高騰	6.0%	5.6%	12.8%	20.0%	1.6%	3.1%	4.8%	-	16.7%
施設・設備の老朽化	5.0%	7.4%	2.6%	-	6.3%	9.2%	2.9%	-	-
同業者との競争激化	4.5%	-	5.1%	20.0%	6.3%	3.1%	5.7%	-	-
資金繰り	3.1%	1.9%	3.8%	20.0%	1.6%	3.1%	2.9%	20.0%	-
新商品・サービスの開発	2.4%	3.7%	1.3%	-	-	3.1%	3.8%	-	-
経営計画の未策定	1.8%	3.7%	2.6%	-	-	1.5%	1.9%	-	-
借入金の返済	1.6%	7.4%	2.6%	-	-	-	-	-	-
地域の治安	0.8%	1.9%	-	-	-	1.5%	-	-	16.7%
その他	1.0%	1.9%	-	20.0%	1.6%	-	1.0%	-	-
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- 小売業は、「売上の減少」（26.6%）が一番多く、「商圏の喪失」（15.6%）、「帰還住民数の推移」（14.1%）と続いている。
- 飲食店・宿泊業は、「人件費の高騰」（16.9%）が一番多く、「売上の減少」および「人材不足」がそれぞれ13.8%で続いている。
- サービス業は「売上の減少」（21.0%）が一番多く、「帰還住民数の推移」（11.4%）、「商圏の喪失」（9.5%）と続いている。
- 不動産業は、「売上の減少」「人材不足」「帰還住民数の推移」「販路開拓」「資金繰り」があげられている。
- その他業種は、共同販売事業、石材店、林業であるが「売上の減少」「人件費の高騰」「利幅の縮小」「販路開拓」「資材の高騰」「地域の治安」があげられている。
- その他の課題として挙げられたものは、「宅配便の本数と賃上げ」「車両の増減について見極めが難しい（タクシー業：人件費への影響）」等である。

2-2-2 支援施策の活用等



	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	飲食宿泊業	サービス業	不動産業	その他
総回答数	218	42	51	0	38	39	42	5	1
各種補助金の活用	40.8%	33.3%	47.1%	-	42.1%	33.3%	47.6%	20.0%	100.0%
官民合同チームの訪問	23.4%	23.8%	19.6%	-	23.7%	33.3%	21.4%	-	-
雇用助成金の活用	10.6%	11.9%	13.7%	-	5.3%	7.7%	14.3%	-	-
制度資金の活用	7.8%	9.5%	7.8%	-	7.9%	7.7%	4.8%	20.0%	-
専門家派遣制度の活用	5.5%	7.1%	3.9%	-	7.9%	5.1%	2.4%	20.0%	-
人材マッチング事業の活用	4.6%	2.4%	5.9%	-	2.6%	10.3%	2.4%	-	-
経営計画の策定支援	4.6%	4.8%	2.0%	-	10.5%	-	4.8%	20.0%	-
商談会への出展	2.3%	4.8%	-	-	-	2.6%	2.4%	20.0%	-
その他	0.5%	2.4%	-	-	-	-	-	-	-
合計	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

◆ 全業種傾向

- 支援施策の活用として1位から5位のいずれかにあげられたものを集計すると、「各種補助金の活用」が最も多く（全体の40.8%）、以下「官民合同チームの訪問」（23.4%）、「雇用助成金の活用」（10.6%）、「制度資金の活用」（7.8%）「専門家派遣制度の活用」（5.5%）と続く。
- 1位にあげられたものは、「各種補助金の活用」が最も多く、「官民合同チームの訪問」が続いている。

◆ 業種別傾向

- 製造業は、「各種補助金の活用」（33.3%）が一番多く、「官民合同チームの訪問」（23.8%）、「雇用助成金の活用」（11.9%）と続いている。
- 建設業は、「各種補助金の活用」（47.1%）が一番多く、「官民合同チームの訪問」（19.6%）、「雇用助成金の活用」（13.7%）と続いている。
- 卸売業は、有効回答がなかった。

- 小売業は、「各種補助金の活用」（42.1%）が一番多く、「官民合同チームの訪問」（23.7%）、「経営計画の策定支援」（10.5%）と続いている。
- 飲食店・宿泊業は、「各種補助金の活用」および「官民合同チームの訪問」がそれぞれ33.3%で一番多い。
- サービス業は「各種補助金の活用」（47.6%）が一番多く、「官民合同チームの訪問」（21.4%）、「雇用助成金の活用」（14.3%）と続いている。
- 不動産業は、「各種補助金の活用」「制度資金の活用」「専門家派遣制度の活用」「経営計画の策定支援」「商談会への出展」があげられている。
- その他業種は、共同販売事業、石材店、林業であるが「各種補助金の活用」があげられている。

3. 調査票

3-1 調査票表紙

地域経済動向調査及び経営状況分析

< 調 査 票 >

平成29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

商工会南双葉広域連携協議会

(広野町・檜葉町・富岡町・川内村)

担当者名: _____

事業所名	
代表者名	
業種	☐ 1製造業 ☐ 2建設業 ☐ 3卸売業 ☐ 4小売業 ☐ 5飲食店・宿泊業 ☐ 6サービス業 ☐ 7不動産業 ☐ 8その他()
担当者名	
住所	〒 - 福島県双葉郡
電話番号	- -
FAX番号	- -
e-mailアドレス	@

3-2 共通調査項目調査票

1. 地域経済動向調査

共通調査項目

No	項目	【実績】 平成29年1月～平成29年6月	【今後の見込み】 平成29年7月～平成29年12月
1	売上高・出荷額	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
2	売上原価	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
3	在庫水準	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
4	経常利益	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
5	資金繰り状況	大変良い・良い・普通・悪い・大変悪い	大変良い・良い・普通・悪い・大変悪い
6	設備投資	過剰・やや過剰・普通・やや不足・不足	過剰・やや過剰・普通・やや不足・不足
7	雇用状況		
	7-1 従業員の増減	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
	7-2 従業員の定着率 (標準は3年) (同業他社と比べて)	大変良い・良い・普通・悪い・大変悪い	大変良い・良い・普通・悪い・大変悪い
8	業況の実績と見通し		
	8-1 実績と今後の見通し	上昇・やや上昇・変化なし・やや下降・下降	上昇・やや上昇・変化なし・やや下降・下降
	8-2 販売数量	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
	8-3 販売単価	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少
	8-4 仕入価格	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少	増加・やや増加・変化なし・やや減少・減少

3-3 全業種共通追加調査票

全業種共通追加調査

No	項目	内容	回答
1	経営上の課題	①売上の減少 ②利幅の縮小 ③販路開拓 ④新商品・サービスの開発 ⑤同業者との競争激化 ⑥商圈の喪失 ⑦資材の高騰 ⑧人材不足 ⑨人件費の高騰 ⑩資金繰り ⑪借入金の返済 ⑫経営計画の未策定 ⑬施設・設備の老朽化 ⑭後継者問題 ⑮地域の治安 ⑯帰還住民数の推移 ⑰その他()	複数回答 1位 _____ 2位 _____ 3位 _____ 4位 _____ 5位 _____
2	支援施策の活用等	①各種補助金の活用 ②雇用助成金の活用 ③制度資金の活用 ④人材マッチング事業の活用 ⑤専門家派遣制度の活用 ⑥経営計画の策定支援 ⑦商談会への出展 ⑧官民合同チームの訪問 ⑨その他()	複数回答 1位 _____ 2位 _____ 3位 _____ 4位 _____ 5位 _____